

ま、すは!!

「主は敵であるかのように」

「主は、敵であるかのようにイスラエルを滅ぼされた。城郭をすべて滅ぼし、砦を破壊し 娘ユダの呻きと嘆きをさらに深くされた。」

(哀歌 第2章5節・旧約聖書1269頁)

はじめに

預言者エレミヤは、神への不信仰をあらわにし、偶像礼拝や日常的に不正を繰り返す神の民に対し、悔い改めを迫り続けました。しかし、その姿勢を変えなかったことで、とうとうバビロンに滅ぼされてしまいます。その様を見てエレミヤはこの嘆きの歌を作りました。しかし、ただ単なる嘆きではなく、そこにはそれでもなお、神の民をお見捨てにはならない神の憐れみが語られていました。

立ち返るため

まずこの哀歌の中でエレミヤは神の義、正しさはこの世の中のものとは違う「完全な義」であることを説き、見逃してくださるだろうとの甘い考えがさらなる罪や反逆を助長し、ふくらんでいったのだと指摘、神の義を心に刻むようにと語りました。だからこそ、神はその正しさにそむいた神の民の罪を裁かずにはおれなかったのです。

しかし、なぜ神は、国を滅ぼすという厳罰を用いられたのでしょうか。神の民を愛するならば、もっと違う方法がなかったのでしょうか。ここでは「敵であるかのように」「城郭すべてを滅ぼし、砦を破壊」されたとあります。

もちろん、エレミヤが「神に立ち返れ」「偶像礼拝をやめよ」「行いを正せ」と何度も言っているのに、聞かないどころか語るエレミヤをも迫害してきたわけですから、厳罰は当然とも言えます。しかし、彼らが立ち返るためにはこの方法しかなかったのです。

神に生かされている

普段、生活の中で私たちに注がれている恵みを意識しているでしょうか。忘れてはいないのですが、時折気付く程度です。だからこそ、朝と夕べに神に祈る時が必要なのですが、それをも忘れると、たちまちに高ぶることになります。どれだけの恵みに囲まれて生きているか、それがなくなった時に、初めて知ることになります。神が敵になった時、どれだけの恐怖が私たちに襲うでしょう。城郭や砦を破壊されたのは、神の恵みや守りがなくなった時の、まるはだかの状態になったら、自分はどんな惨めな状態になるのかを知るためでした。私たちは、神に生かされていることを忘れてはなりません。神が味方であり、神が私たちを守ってくださっていること、そして私たちに神という「隠れ場」があることを感謝しなければならないのです。

忘れてはならない

「神が味方なら、誰が私たちに敵対できますか」(ローマ8:31)とあります。忘れてはなりません。また詩編に「私の魂よ、主をたたえよ。そのすべての計らいを忘れるな」(103:2)とあります。新改訳では「主が良くしてくださったことを何一つ忘れるな」と訳されています。40編に表現されている「おびただしくて数えきれ」(6)ない恵みを数えていくうちに、神への感謝があふれる日々を過ごすことができるのです。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「主は、敵であるかのよう
にイスラエルを滅ぼされ
た。城郭をすべて滅ぼし、砦を破壊し 娘ユ
ダの呻きと嘆きをさらに深くされ
た。」(哀歌 2:5)

「神が味方なら、誰が私たちに敵対
できますか。私たちすべてのため
に、その御子をさえ惜しまず死に渡
された方は、御子と一緒にすべての
ものを私たちに賜らないことがあ
るでしょうか。」(ローマの信徒へ
の手紙 8:31 ~ 32)

「私の魂よ、主をたたえよ。私の内なるすべて
のものよ その聖なる名をたたえよ。私の魂よ、



主をたたえよ。そのすべての計らいを忘れる
な。」(詩編 103:1 ~ 2)

「わが神、主よ、あなたは多くのことを 奇し
き業と計らいを 私たちのために
成し遂げられた。あなたに並ぶ者は
ありません。私がそれを語り伝えよ
うにも おびただしくて数えきれ
ません。」(詩編 40:6)

神さま、あなたが私の味方でな
かったなら、私はどうやって生きて
いけば良いのでしょうか。あなたの
恵みを観じることがなければ私の心は暗闇に落
ちいります。あなたの恵みに生き続けられます
ように。御名によって祈ります。アーメン。

深読みにチャレンジ！

箴言 (123) 第6章12節

＊三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「ならず者は悪をもたらす輩 偽りを
言い歩く。目くばせし、足で合図し 指で指図す
る。心に偽りを持ち、悪を耕し 絶えずいさかいを
引き起こす。」

◎口語訳 「よこしまな人、悪しき人は 偽りの言
葉をもって行きめぐり、目でめくばせし、足で踏み
鳴らし、指で示し、よこしまな心をもって悪を計り、
絶えず争いをおこす。」

◎新改訳 「よこしまな者や不法の者は、曲がった
ことを言って歩き回り、目くばせをし、足で合図し、
指でさし、そのねじれた心は、いつも悪を計り、争
いをまき散らす。」

「ならず者」

「ならず者」についての記述です。この箇所も
まとめて解説します。

「怠け者」(6)、「怠け者」(9)と続いて「ならず者」
となります。この並びに意図的なものを感じま
す。おそらくは「怠け者」＝「働くべきなのに、
何もしない人」、「ならず者」＝「やってはなら
ないのに、積極的に関与する人」の対比です。

パウロは人間の罪について、自分を例に挙げ
「善をなさうという意味はあっても、実際には
行わない」「自分の望む善は行わず、望まない悪
を行っています」(ローマ 7:18)と言っています。

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成され
ています。31章から構成されていますが、あたかも短編
を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連
なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、
そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難し
いため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいた
いと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある
生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただき
たいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1 ~ 9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1 ~ 22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17 ~ 31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17 ~ 24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1 ~ 29:27)
 - c アグルの言葉 (30:1 ~ 33)
 - d レムエルの言葉 (31:1 ~ 31)

罪の性質があるのを承知しながら、放っておく
と罪に対して無感覚になるだけではなく、罪の
深みに陥っていきます。それは「足」「目」「指」
といった体全体を用いながら、加速度的に軌道
が逸れていくことになります。

私はいつも犯罪のニュースが流れるたびに、
悪いことをしようとする人物は、どれだけ悪い
ことを考えられるのだらうと思ってしまいます。
「オレオレ詐欺」を思いついた人物がもしまとも
であったなら、きっと社会貢献ができるアイディ
アを出せただろうにと。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈祷課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

詩編第138編7節「たとえ私が苦難の中を歩んでいても あなたは私を生かし 手を伸ばして敵の怒りを防ぎ 右の手で私を救ってください。」◆悩みや苦しみに陥ると、すぐに孤独感が襲ってくる。そして自分で戦わなければ、自分の力で耐えていかなければと考えて、どん底に陥ってしまい、「神は私を見捨てられた」と思い詰めてしまう。「苦難の中」でも神は「私を生かし」てくださり、防いでくださって、そして救われるお方だ。悩みや悲しみが襲ってきた時、神はその憐れみの御手をもって私たちを生かすように強く働かれる。

●賛美／299 ●祈祷課題

◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。

◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

詩編第139編1節「主よ、あなたは私を調べ 私を知っておられる。」◆あなたは「自分自身」をどれだけ知っているだろうか。おそらくは完全には知り得ないだろう。だが神はあなたを知り尽くしておられる。あなたの能力、賜物もあなたの将来も含めすべてを知り尽くされている。今、あなたが何をしようかと思っていることも知っておられる。それはすべての人に及び、さらに全世界のあらゆる現象をも把握されておられる。もちろん、これから起こることもだ。だから、私の生涯を最善に導くことがおできになる。「(悩みの)夜も昼のように光り輝く」(12)。

●賛美／300 ●祈祷課題

◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

詩編第140編11節「燃え盛る炭がその上に降りかかり 穴の中に落とされて 彼らが二度と立ち上がれないように。」◆聖書に炭火が用いられる時、それは単にさばきの道具のひとつとして見るべきではない。ソドム、ゴモラの滅びは「火と硫黄」とあるが、「炭火」も同様の語である。つまり、神の聖は汚れを滅すとの「聖絶」の宣言だった。イザヤはこの炭火によって汚れを取り除かれ、聖別されて主の預言者として派遣されている。ひとつの問題でも、敵に「聖絶」を求めても、自分がその出来事を通して「聖別」されることをも願うべきなのだ。

●賛美／301 ●祈祷課題

◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように

◆宗教法人を取得できるように

◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

詩編第141編4節「私の心を悪事に向けないでください 不正を働く者らと共に 不正を重ねることがありませんように。彼らの差し出すごちそうを食べることがありませんように。」◆この世の力を侮ってはならない。また油断してはならない。どのようなかたちで私たちに襲ってくるかわからないからだ。ごちそうを振る舞われることもある。楽しいひとときをと思っていても、それが原因で信仰を落とすことさえあるのだ。ではどうしたらよいのか。「私を守ってください、陥らせないでください」と、絶えず神に祈りつつ、事をなしていく。これ以外にない。

●賛美／302 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

詩編第142編2節「声を張り上げ、主に向かって叫び 声をかぎりに、主に向かって恵みを求めよう。」◆ここに「声をかぎりに」とあるが、ダビデは「洞穴にいた」（1）。もちろん、サウルの手から逃れるためだ。だから、声をひそめなければならぬはずだ。でも、彼は声を出さずにはおれなくなったのだろう。このままでは自分がそのまま消失せるのではないかとも思ったのだろう。個人的な祈りの場合、なかなか声を出す環境にはないだろうが、ある時には人気のないところで、声を上げて祈ることも必要ではないだろうか。熱心に祈る者でありたい。

●賛美／303 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

詩編第143編6節「あなたに向かって両手を広げます。私の魂は荒れ果てた大地のように あなたを慕います。」◆もし私たちがすべてに満足していたら、祈ることをしなくなるだろう。だから、私たちには渇きが必要なのだと思う。貪欲は罪だが、神の恵みを求める貪欲さだけは忘れてはならない。「求めよ、捜せ、たずねよ、たたけ」と言われているからだ。「もっと、さらに恵みを」と祈ることで、私たちの想像を遙かに超えた恵みの高嶺に到達するはずだ。満足してはならない。無尽蔵の神の財産を引き出していかなければならない。

●賛美／304 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

詩編第144編1節「わが岩、主をたたえよ。私の手に戦いを私の指に戦闘を教える方。」◆私たちは守るだけではなく、ある時には信仰の戦いを戦う必要がある。ダビデはゴリアットにおじゃまずくユダの軍をはがゆく思い、自分が出て行って戦った。彼は恐ろしさを感じていなかった。それは「主が戦ってくださる、主の戦い」であったからだ。主に対し、「手と指を鍛えてください」と言っているわけだが、今の私たちの戦いには弓をひく指や剣を持つ手は必要ない。強くしていただくのは祈りの手であり、琴をつま弾く指、賛美である。

●賛美／305 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやこでせいしょ

●きょうのせいしょ

【れつおうき じょう 16:29 ~ 17:7】

「エリヤのよげん」

(れつおうき じょう 17:1)

ダビデがひとつにした かみのたみの おうこくは ソロモンのつみによって ユダとイスラエル、ふたつのおうこくになってしまいました。

きたの イスラエルおうこくは さいしょの おうである、ロブアムが みやこに きんのこうしを まつり、みんなに れいはいさせたことによって、かみさまからの しゅくふくを うしなっていました。つぎのおうさまも、そしてまた つぎのおうさまも、みんなかみさまを しんじることなく、いえ、かみさまに さからいつづけ、かみさまを かなしませました。

なかでも アハブおうは バアルというぐざうのかみさまを おがみ、かみさまの よげんしゃたちを くるしめていました。そんななかで よげんしゃとした たてられたのが エリヤでした。

エリヤは かみさまからの ことばを アハブ

につたえました。それは、「これからなんねんも あめがふることはないだろう」というものでした。あめがふらなければ、はたけでとれる しょくもつも かっていううしや ひつじも こまってしまいます。そんなことよりも、にんげんが いきていくことができません。かみさまが そうされたのは、かみさまが いきておられる かみさまであることを おしえるためでした。

エリヤは かみさまから めいじられて、アハブと たたかうことになりました。エリヤの ふきは、かみさまのことばです。そのことばを しっかり かたることができるように、かみさまは エリヤに ケリトのけいこくに いくように めいじました。なにもないところですし、あめがふりませんから みずも ありません。でもかみさまは「わたしは からすに めいじて あなたを やしなわせる」といわれました。

そのとおり、エリヤは あさに ゆうに からすがたべものをはこんできたことで、かみさまのことばの ちからを まなんだのです。

●かんがえてみよう

☆エリヤが よげんしゃとして かつやくするとき、イスラエルのおうさまは だれでしたか。(16:29)

☆エリヤは アハブに どのようなことを かたりましたか。(17:1)

☆エリヤは かみさまから どこにいくように いわれましたか。(17:3)



なむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりますが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

いきこおられるかみ

ら	か		い		き		お	
						き	い	れ
み	い		る		お			て
				き				
き		て	み	い		る		
る	み				て	お		ら
れ					い	ら		お
い	ら			お		れ	る	き
て			き				か	み

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① すみをかく
- ② ぱくんとに
- ③ いけくこ
- ④ あるぎど

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「修理」

私の朝食はトーストとコーヒーですが、ある日、コーヒーメーカーの水を入れる際、その容器が壊れていることに気がきました。どうしたのか聞くと、落として、割れてしまったとのこと。余計なことをしてくれたものだと思います、そのプラスチック部分の破片を拾い集めました。幸い、粉々にはなっておらず、なんとかつなぎ合わせられるのではないかと「溶接」してみたのですが、非常に薄く作られていたため、完全修復とはいきませんでした。それでも

多少の水漏れが生じるものの、新しく買い換えるのもしゃくなので、使い続けています。先日も「壊れちゃったから、新しいのにしよう」と言ったので、「壊れたんじゃないだろ！壊したんだろ」と怒ったのですが、私も水漏れコーヒーメーカーに疲れてきていたので、50箱買おうとコーヒーメーカーが無料になるというサブスクを申し込みました。

先日、文化庁が「重要文化財の仏像を修理していた所、手が折れてしまった」と発表しました。1000年近く前の木製物です。経年劣化のためにちょっとした振動でもパリンと割れてしまいます。そんなのでも壊れたら謝らなきゃいけない立場。辛いですね。どんなものでも壊さないことが第一です。注意しましょう。

聖書ふれあい街歩き

●モアブ ポプラの谷

イザヤ書 15 章ではモアブの重要な町が陥落し、人々が逃げ惑う様子が預言されています。

「ポプラの谷の向こう」とあります。このヘブライ語は私たちが知っているポプラ並木のそれではないようです。この語を柳と訳すものもあるのですが、水辺でないと育たない木のようなものです。つまり、水の豊かな場所の象徴として使われます。その「ポプラの谷の向こう」がどのような場所であるかわかりませんが、モアブの人々が逃げ惑う様子に続く形容ですし、「富と貯え」を運んでいることから、安全な場所と認識されていた所なのでしょう。「秘密の谷」のような、普段、人があまり立ち入らない溪谷の中に入っていくイメージとして受け取れます。

モアブは本来、牧草や水の豊かな土地でした。しかし、その水は涸れて牧草地帯が荒れていくことになり、彼らは全財産を持って、変わり果てた自国を捨て、逃げなければならなくなった悲惨さをより一層強調しています。ルツ記のエリメレクとナオミ夫妻はモアブへと身を寄せましたが、結局、それは神を捨てたと見なされて、神の祝福を失ってしまう結果がもたらされます。モアブの行動も自分の神々を捨てたとらえていいと思います。

ななめ聖書 先週のこたえ

が	く	む	や	ぶ	ろ	あ	つ	る
つ	ぶ	あ	む	る	く	や	が	ろ
ろ	や	る	つ	が	あ	む	ぶ	く
く	む	や	ぶ	あ	る	つ	ろ	が
る	ろ	が	く	つ	や	ぶ	あ	む
あ	つ	ぶ	ろ	む	が	く	る	や
や	る	つ	が	く	ぶ	ろ	む	あ
ぶ	あ	ろ	る	や	む	が	く	つ
む	が	く	あ	ろ	つ	る	や	ぶ

①おもいくびき

②きんのこうし

③じょげん

④しゅくん

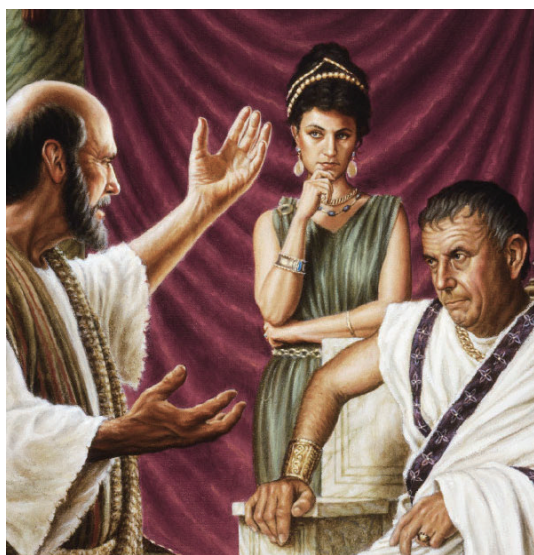


ローマに向かうパウロ

フェリクスは、この道についてかなり詳しく知っていたので、「大隊長リシアが下って来るのを待って、あなたがたの申し立てに対して判決を下すことにする」と言って裁判を延期した。そして、パウロを監禁するように百人隊長に命じた。ただし、自由をある程度与え、仲間が彼の世話をするのを妨げないようにさせた。

数日の後、フェリクスはユダヤ人である妻ドルシラと一緒に来て、パウロを呼び出し、キリスト・イエスへの信仰について話を聞いた。しかし、パウロが正義や節制や来るべき裁きについて話すと、フェリクスは恐ろしくなり、「今回はこれで帰ってよろしい。折を見て、また呼び出すことにする」と言った。だが、パウロから金をもらおうとする下心もあったので、度々呼び出しては話し合っていた。

(使徒言行録24:22～26)



パウロとフェリクス

【裁判の延期】

結審を回避したいフェリクスは「大隊長リシアが下って来るのを待って」と答えました。

確かにエルサレムの神殿の詰めていて、事の一部始終を知っていたのはクラウディウス・リシアです。今回の事件は、エルサレム神殿でユダヤ人たちがパウロを捕らえ、殺そうとしたことから始まりまったわけですが、その場でパウロを救出したのが、エルサレムに駐屯していた大隊長(千人隊長)リシアです。その後、パウロを群衆から救い出し、事情を調べようとした中でパウロ殺害計画が告げられ、大勢の兵士を護衛に付けてフェリクスのいるカイサリアへ送ったのはリシアですから、この事件に一番詳しい人物でした。

フェリクスは、リシアの手紙から、パウロが犯罪者ではなく、保護すべき人物として送られたこと、さらに、政治事件ではなく、限りなく宗教論争であることを認識し、深入りするとユダヤ人地区の治安が保てない状況になるとも判断していたので、大祭司側をなんとか追い返したいと思っていたはずですが、そこでリシアを引き合いに出して、延期を決めたのでした。

【フェリクス夫妻との面会】

フェリクスはパウロの犯罪性を認めず、ローマ市民でもあったため、カイサリアの官邸内では自由を与え、仲間との面会も認めていました。

よほど関心があったとみえ、彼は「ユダヤ人である妻ドルシラと一緒に」パウロの話を聞くことにしました。

「この道にかなり詳しく知っている」フェリクスは、パウロに何を聞きたかったのでしょうか。ひとつには自分が任されているこの属州の宗教事

情を知りたかったこと、さらになぜパウロがここまで同胞ユダヤ人に嫌われているのかを知ろうと思ったと考えます。

ところがパウロはフェリクスの思いとは違って、伝道の良い機会として捉えていたようです。「正義や節制、来るべき裁き」について語ったとあります。これはフェリクス自身の生活に密接に関わる内容だったため、「恐ろしくなった」ので、「今回はこれで帰ってよろしい。折を見て、また呼び出すことにする」と言って帰らせました。

フェリクスの妻はユダヤ人でした。実はこのドルシラという女性是一般女性ではなく、ヘロデ大王のひ孫にあたるヘロデ・アグリッパ1世の娘。ユダヤの古代誌を著したヨセフスは、その中で、「他の家に嫁いでいたのだが、フェリクスがドルシラを見て気に入り、彼女を夫から離して自分の妻にした」と記しています。さらには総督として権力を持っていたゆえに、その私生活にも道徳的な問題があったようです。そのため、パウロは福音の現況報告ではなく、「あなたは神の前に正しく生きていますか」との切り口で話をしたのだと思います。そうではないと「恐れを感じる」ことはありません。

そこから「悔い改め」たら良かったのですが、その後のフェリクスはパウロからの賄賂を期待して、度々パウロを呼び出しては、心閉ざされたまま話しをしていました。結局、そのようにして二年がたち、フェリクスはシリアで起こった問題にうまく対応できず、皇帝ネロによって総督を解任されローマに召還され、ポルキウス・フェストゥスが後任として着任します。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えます。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2026年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日を加え、守っています。

顕現節(1/6～#2/17)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#2/15)として守ります。

四旬節(#2/18～#3/28)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#2/18)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#3/29～4/4)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#3/29)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/2)、十字架にかかれた受難日(#4/3)と過ごしていきます。

復活節(#4/5～#5/23)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/5)から始まります。春分の日からの最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/14)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日 #5/17)となります。

聖霊降臨節(#5/24～#11/28)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#5/24)から

始まり、三位一体主日(#5/31)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/29～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/20)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/10・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/14・6月第二)
父の日(6/21・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/22・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・木)
成人祝福礼拝(#1/11・1月第二)
聖書愛読週間(#3/22～28)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/29)
最後の晩餐集会(#4月2日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/14・6月第二)
弾圧記念礼拝(#6月28日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月5日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/13・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/1・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・木)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら 相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし 私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が終末と示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦

牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

